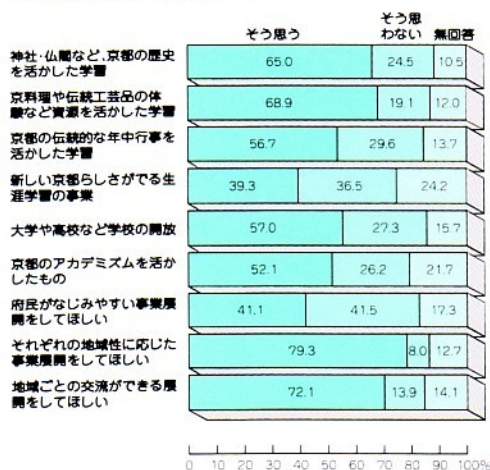


京都府の特性を活かした生涯学習



(3) 地域の学習資源を活かす生涯学習

京都府の北部、中部、南部の各地域には海、山、川などの恵まれた自然や文化等がありますが、これらは生涯学習の貴重な資源です。特に農山漁村地域では、古くから農林水産業が自然と調和しながら営まれ、美しい農村景観や食文化、祭り、伝統芸能等の個性あふれる地域文化をはぐくんできており、これらも生涯学習の貴重な資源となっています。また、各地域の歴史、文化や地域産業などに関する様々な情報も貴重な生涯学習の資源であり、京都府の北部、中部、南部地域の情報を新しい京都の学習素材として相互に異なる地域で活用し、その活性化につなげたり、学習の輪を大きく広げていくことが必要です。

各地域は、過疎や高齢化、まちづくりや村おこしなど、様々な地域課題を抱え、その課題の解決が切実な願いとなっており、これらについての地域の積極的な学習活動への取組、相互の交流と連携を深めることが大切です。また、女性の社会参加ができる機会の拡大や高齢者が地域を支える力を生み出すような生涯学習を盛んにしつつ、地域文化や地域の歴史を学ぶような学習機会を豊富に取り入れていく必要があります。

これらの地域的な課題について、私たち府民一人ひとりが、主体的に学習に取り組めるようにするため、ボランティア活動や生涯学習の企画・立案への参画を促す条件を整えていくことが必要です。特に女性の参画を促進する条件整備が必要です。

(4) 京都府の特性を活かす生涯学習

京都府は千年の都としての伝統と神社仏閣、有形・無形の文化財など、全国に見られないほどの貴重な生涯学習の資源が満ちあふれています。

例を挙げれば、昔から伝統のあるけいごなどを中心地として、今日でも、多くの学習活動が展開されており、これらが全国に広まっていくことが期待されます。

また、京都には学問の都として、大学・短期大学等の高等教育機関の高い集積があり、これらを生涯学習に活かしていくことも期待されます。

更に国際化が進む中で、日本への関心が高まり、京都の役割が高まってきています。環日本海時代を迎え、対岸諸国の情勢変化を踏まえて自国の文化を学ぶとともに、異文化を理解するための生涯学習の機会や場をつくることや、国際性豊かな京都人となるための学習や国際人として何ができるのかを考えることも重要です。

京都は国際都市として国際会議も多く、海外からの観光客や留学生も毎年増加し、文化・芸術やスポーツなどの分野での国際交流なども進んでおり、多くの市町村では友好姉妹都市提携が進んでいます。また、国際交流の窓口となる外国の文化センターなどもあり、国際的な交流を行いやすい学習環境にあります。

これら京都の有する特性を十分活かして、京都らしい生涯学習を展開し、生涯学習の中心となるような役割を果たす必要があります。